

# 寺崎組新聞

第五号

発行所 寺崎組新聞社

## 泥塗ブルデューパーク

### 小武川に平原綾香の夜はふけて...

GW小武川組会報告 フガ金井編

こだまでしょうか? いいえひびきです。(なんちって)

平成23年5月3日(火)、例年通り小武川での宴が催されました。特に今年にはさまざまな出来事があり、3月の組会が中止になったりしましたので、無事参加できた事にちよっとしみじみちやったりしてました。

愛車Xに荷物をぎゅぎゅと括り付け、朝10時に安曇野を出発。小武川までは約100kmの道のりです。GW真っ只中のうららかな空気のなか、久しぶりのんびり無心で走りました。途中少々早めに茅野での3日分の買出しは、あまりの量にリュックの蓋も開まらないほど。仕方ないのでネギをくわえたまま40kmあまりフラフラと、13時ころの到着となりました。

そこには組長と伊勢のサバァイ伊藤社長さん、足利のお姉さまがまつたりしておられました。びやびやとテントを建て、早速カンパイです! この瞬間のために来ていると言っても過言ではないのだ。(なんちって) 大好きなセロリの浅漬けをまわしつつ、ほろ酔い気分になった頃、三々五々、組員も到着しました。

1日目メンバーは

- ・ひらりん曹長とオカルト大好き息子。大きくなったのう
- ・蹴りセローさんはいつもの白のジムニーで
- ・よつちゃんやママは(日本一周したて)だねえ。スゴイ)
- ・宮下さん親子は一瞬現れるも、なぜか行方しらす。多分本能的に危険を察知されたのでしょうか(笑)
- ・アツイ漢、村松岡さんは燃える漢の赤いドラム缶を持ち込み、なんで

も風呂を沸かすとか夕方になり雨がポツポツときだしたので、ゴキブリ号周辺のタープ下に宴会は移動。

・夕間迫る中、カップのマンントを唄と翻して、月光仮面モリシタさんがトライアンフで登場です!

・ゴ三浦さんはバツサリ毛を刈ったハッピーちゃん

その夜はタープを打つ雨だれと、組長が最近お気に入りだという平原綾香のメロディーがしっとり流れて、かたや伊藤シャチャョーのサバァイな話とか、カタログみたいな商品のお客様相談室への正しい相談(クレーム)の仕方とかで盛り上がってまいりましたが、不肖おさーんのこの私、誰より早くきつちり歯磨きをしてテントに転がり込んでしまったので、妻たけなわの盛り上がりは残念ながらお伝えできませぬ。(案の定夜中の1時にぱっちり目が覚めてしまったござる)

5月4日(水)、一日イイお天気でした。朝食は伊藤シャチャョーが、伊勢うどんを振る舞ってくださいました。ぶっかけ風がたいへん美味しかったです。さて今日はワタクシ、やらねばならぬ事がございます。会社の研修の宿題で「八甲田山死の彷徨」を読みレポートを提出せねばなりません。テントにゴロンと横になり、午前中は読書タイムとしゃれ込みます。お昼ころには足利のお姉さまから、ホンモノのエビスとスパムのおすそ分けを頂戴し、一杯やりながらほろ酔い気分ですすめました。皆様から映画ではやれ北大路欣也が主役だの、三国連太郎が仇役だのアドバイスをいただきました。隣では足利のお姉さまもなにやら分厚い本を読んだりさる様子。こういう屋下りの宴もよいものです。そうこうしているうちに2日目の

メンバーが到着。TLRの上田のチノさんは、きこり修行をされてるんですね。りょうふうさんは小津安二郎なんちやら(OLレーシング)チューンのXRで、試乗させていただきました。たが、パワーもりもり扱いやすい! 欲しくなっちゃいました。

夜勤明けの地下鉄さんもや々と登場

- ・上野原のオザキさんも急ピッチで杯を重ねていらつさいます。
- ・宮下さん親子もついにお目見え。お子とひらりん曹長のオカルト大好き息子は、仲良く焚き火で盛り上げておりました。

組長はモリシタさんの手づくりトリに試乗。燃料コックがOFFのままだったらしく、途中で止ってピピッたそうなんです。アツイ漢、村松岡さんは午前中からガブガブ呑みあげて、なにやら散々アツク語っておりました。そのうちゴロンと小一時間横になりました。(結婚記念日だそうなんです) 伊藤シャチャョー、ひらりん家、蹴りセローさん、モリシタさん、よつちゃんもお帰りの予定です。足利のお姉さまもお帰りの予定でしたが、皆に引き止められ連泊決定!翌朝早くにお帰りとりました。



その晩の夕餉は、組長がACで沢海さんに手ほどきをうけたという、特製「鳥もつ煮」が振る舞われました。宮下さんお子は、地下鉄さんの揚げるかき揚げやポテトに大喜び! 野宿で揚げ物が出てくるなんて、やっぱりサブライズなんだねえ。さてここから宴もたけなわですが、不肖おさーんのこのワタクシ、今宵も誰より早くきつちり歯磨き完了、以下同文でございます。

5月5日(木)、この日も一日快晴でした。二日酔いの朝食は、ご飯を炊いて味噌汁でキマリです。大好きなカジキの西京焼きも添えてみました。

午前中はうだうだしながら「八甲田山」をついに読破! 地下鉄さんは4000円もする高級「日本軍六輪タイヤ」型ジップのプラモを作製中です。ゴ三浦さんは午前中に御帰宅となり、私も最後の屋敷をゆつくりいただいたりテントを撤収、ふんわりとしたキモチで帰途につきました。リュックはすっかり軽くなりました。ココロもすっきり、思いはずしりです。(なんちって)

今回も皆様に会えて嬉しかったです。またどこかで御一緒したしましやう! ありがたうございました。

ちなみに組長、ドラマ「風のガーデン」の主題歌は、平原綾香「ノクタン」のカンパニユラの恋でした。富良野が舞台の倉本聰脚本の泣けるドラマです。御本人も結構イケ役で出演しています。よかったですね。

GW小武川組会報告 りょうふう編

5月4日

XRでは初めての長旅です。PAで見かけるバイクはマツコ・デラックス風かミッツ・マングループ調ばかりで、高速ではスレンダーな松たか子風(古い?) オフ車も一台も見かけませんでした。高速は退屈ですが、黒河内林道から入笠山を目指しますが、林道崩落であえなく引き返した。杖突峠から国道20号へ出ました。軽いなあー、高速が辛いのはLC4も一緒、未舗装路での取り扱いは、軽快感捨てたいものがある。藤崎の私と同じ名のスパーで地下鉄氏と出会い、買い物済ませて、射撃場横から入山します。

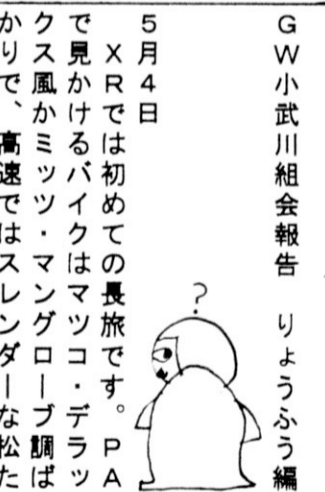
ここには組長、ゴ三浦&ハッピー(以下敬称略)、地下鉄、モリシタ、青代、村松岡、上田、尾形、フガ金井、蹴りセロー、宮下親子が、気持ちの良い木洩れ日の中にいました。面々は屋下がりや悠々と、何をしても無くダラダラとタダダダひたすら酒を飲んでおりました。FCR2基と泥が付いたトライアンフを眺め、空冷エンジンとモリシタ氏力作りアカウルの造形に心酔しつつ、奥にテントを張り、昨日の雨で張られた組長軽キャンパータープの下へ滑り込みました。最初に挨拶した蹴りセロー氏、そして昨日の酒と語り合っていたのか、静かに寝ていたはずの村松岡氏はいつのまにかいなくなっていました。あれは木霊でしょうか? 。

まだ3時、まだ5時と言いつつも、時間がたつのがこのほかに早いのも木霊でしょうか? いえいえ年を重ねたせい。空いた酒瓶が次々と組長軽ワゴンに逆さに立てかけられていきます。

5月5日

青代さんは早朝、茅野の上田氏も午前中に帰還、宮下親子は大根1本分浅漬けを残して、夕方までにはゴ三浦氏&ハッピーちゃん、モリシタ氏、社内研修課題の「八甲田山」を読み終えたフガ金井氏も、ポポポポとコンパットキャンプ場をさよならイオン。

気持ちいい木洩れ日、新緑、そして涼やかな風、こんな時は屋敷も乙なもの。今宵、小武川に残りしは、組長、地下鉄氏、尾形氏、そして私りょうふうの4人。組長に「また濃



いいの飲んで...と突っ込まれつつ、ひたすらコイーのを飲み続ける尾形氏、いつものペースで日本酒がすすむ組長と地下鉄氏、伍ビルと任チュウハイが2本ずつあれば1日快適な血中アルコール濃度を保てる燃費の良い私とは大違いです。

5月6日

あーよく寝た。今日も穏やかな天気。残った食材で野宿成金となった私達はゆつたりと朝食を食らい、少量の残り酒を胃袋に流し込みました。

屋、組長・軽ワゴン・ゴキブリ3号?、地下鉄ジムニー、尾形軽ワゴンが去り、静かな静かなコンパットキャンプ場。一人を楽しみながら、のろのろと撤収。この地に3日間の感謝を捧げ、神戸に向けエンジンに火を入れました。

記 りょうふう

記 フガ金井



記 りょうふう



### 小武川組会 一人一言

●小武川に向かう途中から雨。焚き火がでなかつたのは残念ながら、楽しい宴でした。初日は人間力ラオケマシながいなかったので静かに夜が更けていきました。(ヨシダのよっちゃん)

●薄味の漬物作ってしまいましたみません！キャベツを千切りにしなかつたお好み焼きを作ってしまったみません！CM80を持っていきまじましたがキーを忘れてすみません！またよろしくお願ひいたします！(ぼよよん宮下)

●みなさんお世話になりました。小武川は、もつと奥深い所かと思つてました。場所を覚えたので、次回からは2時間程度で行けそうです。今回は、組長から譲り受けたTLR200のキャブ・オーバードラムと両振り、給油、買出し、迷い道等で4時間近くかかりました。2泊目の買出しの際、日本酒『青天？』(うる覚え)を買いたれるというミスをおかしてしまいました。紅一点の足利のおネイさんのお名前も聞き忘れまして。ドロママさん『バイクショップ・サイトウ』は道路拡幅の為、現在建て替え中です。(上田の忍野(チノ))



4/ハシをはいてない4/

### 大きくなれぬ。



### 丸太の森の森の親子

●今回の成果、『九四式六輪自動車』組み立て完了(1/35 プラモデル)。(地下鉄)

●山梨の山の中から、震災の復興応援としてエールを送るべく参加しました。東北の地酒を消費しつつ、仲間の無事を確認し合せてホッとしたようにです。今回は5月では珍しく雨に降られました。タープ下宴会も盛り上がり、月光飯面さんや迷つてうろろされた組員も集合し楽しい宴会でした。お姉さま・お鍋ありがとうございました。組長・ガス完了しましたので次回新聞作成時にお持ちします。皆様ありがとうございます。(ひらりん)

●ただ朝から食って呑んで、ウダウダしていた様な記憶しかございません。なにはともあれ、平和なのが一番だあ。(ゴ三浦)

●小武川も寺崎組も変わらずで安心しました！(蹴りセロー河合)

●可般式露天風呂(ドラム缶)は年末にでも。ポランテア日記は組会で「俺に5分」ほど頂いた時にでも。(村松岡)

### 「もう遊ばない」って 言わないで

G W小武川組会報告 モリシタ編

グリッブ位置が高いハンドバル(セパハン)に交換し、それに合わせて右側のミラーの位置も変更。振り分けバッグ装着のじやまになるリアウインカーをテールランプ上に移動。高くなってきた気温と小武川の標高に対応するためキャブレターのエアスクリーンを一回転開き、土埃対策としてエアフィルタも洗浄・再浸油。未舗装路でのロックのリスクを低減するためにリアブレーキの遊びを大きめに調整し、ついでに引きずり気味だったリアドラムブレーキ内のカムをグリスアップ。点火プラグも標準のB6ESに代えて、電極の張り出しが長く火炎伝播有利とされるBPE6Sの新品をお借り、3年前のCB72ヤキツキ降臨事件の反省から25W150という固めのオイルを選択。ああ面倒くさい。

前号の新聞作りの際、組長が編集後記に「モリシタ トライアンフで小武川に行くぞ」と書いてしまったために、私はトライアンフT120改スラクステンレーサーレプリカ(要するに林道にはまったく適さない形に改造された古い英国車)にこれだけの変更を加えなくてはならなくなりました。「トラをいじつてみてムリそうだったら、実績のある72で行っちゃえばいいや」と軽く考えていたのですが、まさにその作業日、ゴ三浦副編集長がアポなしガレージ訪問にやってくる、「よしよし、ちゃんとやっているといるな」などとチェック入れられるに至っては、「お見通しだったか。もう逃げ場はないな」と、急襲を受けたウサマ・ビンラディンのように覚悟を決めざるを

えませんでした。ゴ三浦さん、あんたは...オバマでしようか、いいえ誰でも。

5月3日は甲州街道のひどい渋滞と、甲府あたりで降り出した雨にもかかわらず、トラ自体は快調でした。それどころか、小武川林道に入ってから、カフェレーサー仕立ての英旧車が思いのほか走ることに驚かされました。長いホイールベース、前輪の19インチタイヤ、車重、650ccの排気量、エンジンのトルク特性などの相乗効果なのでしょう。でこぼこ道でのずぼら運転が可能なのです。映画「大脱走」で牧草地を縦横に走り回り、鉄条網ジャンプを跳んだのもこのT120の兄弟車TR16だったのだから当然か、と考えると気分はもうステイプ・マツクインです。自信を得て、アクセルも少しづつ開けられるようになった私は、途中、御座石鉱泉への分岐で検問(休憩)中の2人のドイツ兵(BMWライダー)の制止(あいつに手を振ってくれた)をぐり抜け(頭を下げ)たりしながら、コンパットキャンプ場の入り口まで無事脱出(到着)しました。

「百里の道は九十九里を半ばとす」とは、よく言われることですが、宴会場の手前ほんの数メートルで、私はやらかしてしまつたのです。林道本線から林の中の宴会場の広場に折れるところに泥湿地があるのですが、おりからの雨でそこが水たまりになっていたので、道中簡単にクリアしてきた、固く締まった林道の水たまりと同じ感覚でバイクを乗り入れたら、左に取られバイクが右に倒れそうになる。「ヤバッ」と足を出すと、水底と思われる深さからさらに下に足首までズブズブと沈み込む。アクセルから手を離してしまつたのでエンジンにはストールする。バイクの右側に飛び降り、車体を支えて、みると、何とスタンドなしでもバイクが立っているという珍百景です。人力による脱出を試みましたが、バイクが自立してしまうほどのマディートラップです。押しも引いても動きません。宴会場ですでに盛り上がり、引っぱり出していたきました。ああ、カッコ悪。これは...無様でしょうか、いいえ誰でも。

まあ、「大脱走」のマックイーンだって、最後の最後で捕まっちゃうわけだし...オフロードバイクに乗って来ない私って、寺崎組では...



泥だらけ、汗まみれで寒くて...

おい、ヤキツキ、こっち来て飲めよ。

立ち鳥を満さず。

ヤキツキ、泥沼をさらに濁す。なんちやって。

中国には、泥釜で鶏を蒸し焼きにする高級料理があるんだぜ。

おい、知ってるか。

ああ、何か寒気が一段と...

ゾクッ



緊急寄稿  
2011/03/11 14:46  
「あの時...」

あの日から早いもので1ヶ月以上の時間が過ぎました。(編集者注：本稿は前回新聞作成時に寄せられたものです。)この大災害で被災された方々も不幸にも犠牲になられた方々にお見舞いとご冥福をお祈りいたします。

組会の取り止め等、私達の生活にもいろいろの影響が出ていますし、これからさらに広がっていくことでしょう。こんな中で自分の体験(といつても特になのですが、汗)などを寄稿するまでもないのですが、書き表すとこんな感じでした。

当日の午後は数日前に「貯湯式湯沸器」を取り付けた寿司屋さんに温度の調整作業でお伺いしており、調整作業も終了して片付けをしており、ような轟音とともに細かな振動がしばらく続きました。「地震?」と感じながらすぐに会社へ電話するも、すでに発信規制画面でしばらくの事でした。会社の地震計は4ライン・49ガルでしたが、構内の点検が必要との判断もあり、お客様

からも早く戻れと即されてサービスカーで会社へ向かった。途中の街中の様子や災害時拠点病院である市民病院の供給経路を通行しながら目視にて確認し帰社。

すぐにガス発生器や原料貯槽と高圧配管類の漏洩調査・点検とガスホルダーの緊急点検を行い、そのあと市民病院や大口需要家のマイコンメータ確認やLP用バルク貯槽設置需要家からの点検依頼に発生し、20時帰社...すると事務所内でテレビを見て騒いでいる?そこで見た光景...「どこの国?」が第一印象でした。事務所には県の防災課や報道機関(新聞・県内テレビ局)、県ガス協会や資源エネルギー庁ガス安全保安課からの電話が次々とかかっており、それらの対応に追われていた。当社地域は幸い被害もなく貯水層の水がこぼれた程度でした。その後予定していた組合の春闘状況報告兼飲み会も中止となり、自宅まで待機となりました。翌日の20時少し前の長野県北部の地震でまた会社に連絡を行うなど眠れぬ夜でした。そして翌日の夕方の方原発水素爆発...「あー...ついにやっちゃった...」等々と現在に至っています。

この日から、我が家も水道水の汲み置き(90リットル)と野宿機材のジムニーへの移設・携行食糧(MREや保存食料)の仕分けと積み込み、MREの追加発注(これは災害対策でなく...趣味?)を継続していきます。

組関係では、当日に掲示板に赤貸さんから書き込みがあり、自分もゴ三浦さんと組長にメールで安否確認を行い、無事をご連絡いただきました。その後も組員の中でも実際に被災地に向かわれて賢明に活動された方々もおり、本当に頭が下がります。東北組員の方々のご苦労が早く解消されますことを願っています。そして一日でも早く組会等でお会いしたときに「あんなことがあったね」と言える日が来ることを望みます。

編集後記  
地下...あれ新聞の主旨が...  
せねーの。決ま面白くないけど...  
わかんないわ。まあ納得も...  
ミル...  
モリシタ...  
組長...

記 ひらりん